

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1222
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	病院職員（看護職員）の採用手続事業		
根拠法令等	地方公営企業法	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

②事務事業の内容

対象（受益者）	4月の定期採用後、退職者補充として年度途中に勤務可能な看護師等免許資格取得者を対象に
手 段	従来の広報等の募集に捉われず、公的機関に求人掲載依頼するなどの方法により
想定する成果	中途退職者の補充として必要数の確保をすることにより、質の高い看護サービスが提供できる。

③事業の概要

(人)

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
応募者数	4	3	—
試験合格者数	4	2	—
採用者数	2	2	—
看護師10/1不足数	4	12	—
当年度採用者数	24	27	—

④成果指標

①

②

成果指標名	採用率	中途採用者数の割合
成果指標の説明	看護師中途採用者数/看護師不足数	中途採用者数/当年度採用者数×100

⑤事業の進捗状況

(病院事業会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	50.0%	16.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	8.3%	7.4%	—
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	12,858	12,870	12,730
	(人数)	1.6	1.6	1.6
	合計	12,858	12,870	12,730
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,858	12,870	12,730

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	2	全国的に応募者が減少傾向の状況にある。
経済効率性	2	2	事業費としては事務費のみである。
事務効率性	2	2	10月採用の場合、採用決定から採用までの日数が少ないため、手続きとして前歴確認、初任給決定等の事務が煩雑となる。
必要性	3	3	結婚、育児等の理由により年度途中で退職するケースが多く、10月採用に限定せず、欠員補充する必要あり。
小計	8 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	8 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
○中途退職者の欠員補充策として、10月採用に限定せず、随時採用することとした。市民病院独自の非常勤職員要綱を設置し、非常勤看護師確保ができることとなった。	

⑧今後改善すべき点

○試験案内PR方法の見直し

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1224
事業コード		事務事業名	院内保育所運営管理事業	
根拠法令等	地方公営企業法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民病院に勤務する看護師等の子供を
手 段	保育することによって
想定する成果	市民病院に勤務する看護師等の確保ならびに職員の福利向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
延総保育利用者数	3,386人	2,419人	2,775人
開所日数	243日	245日	246日
1日平均保育利用者数	13.9人	9.9人	11.3人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	入園児1人当たりに係る年間費用	総経費に対する一般財源比率
成果指標の説明	総経費／延保育園児人数×開所日数	一般財源／総経費×100

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1,675
	実績	1,495	1,797	—
成果指標 ②	計画	—	—	63.0%
	実績	65.2%	68.5%	—
事業費	事業費	19,225	16,133	17,299
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	20,832	17,742	18,890
財源内訳	国			
	県	1,514	1,594	500
	市債			
	その他	5,726	4,001	6,480
	一般財源	13,592	12,147	11,910

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	2	定員30名のところ年度末育児数14名。定員に対する充足率が低い。
経済効率性	1	1	1人当たりの保育費収入（3万円）に対する経費の支出額が高い。
事務効率性	2	2	保育時間を午後6時までとしている。夜間保育は実施していない。
必要性	2	3	看護職の確保という観点から必要度の高い事業である。
小計	6 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	6 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	看護師の就労支援、看護師確保という当初の目的から院内に保育施設を設置する意義はあるが、経費節減のため運営を民間委託する必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度から入所対象を看護職員だけでなく、病院職員全職種の子供に拡大した。 平成18年4月1日より保育所の運営を民間委託することとした。 	年間 2,000,000円

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 保育児1人当たりの保育費の見直し 保育時間の延長（夜間保育の実施）
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	2234
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	医療用材料、消耗品在庫管理事業		
根拠法令等	地方公営企業法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者さんの診療・入院に必要な診療用資材を
手 段	供給体制と購入の集中管理をすることによって
想定する成果	在庫の適正化と購入価格の低減を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
前年度繰越（千円）	2,960	2,916	2,997
購入額（千円）	535,583	572,223	485,200
払出額（千円）	535,627	572,142	485,200
貯蔵品目数	240	259	254

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	在庫払出回転率（年間の金額比率）	—
成果指標の説明	払出物品 / （在庫＋購入）	—

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	99.4%
	実績	99.5%	99.5%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	1,544	3,623	6,104
	人件費	12,858	12,870	7,956
	(人数)	1.6	1.6	1.0
	合計	14,402	16,494	14,060
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	14,402	16,494	14,060

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	医療業務に必要な医療材料等の適正化を確保し供給するとともに、在庫管理するシステムは確立している。
経済効率性	2	2	適正な定数設定により不良在庫を低減する。
事務効率性	2	2	非常勤職員を活用し、煩雑化する業務内容の対応を図る。
必要性	2	2	病院の医療業務を遂行する上で不可欠な事業である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	診療科、病棟が必要とする医療材料を必要な時に必要量供給する体制は確立されている。今後は、医療材料（診療材料、医薬品等）を一元的に管理・供給する院内物流システムの構築をめざす。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ・物流庫以外に直接購入、業者貸出の方法を採用した。 ・各部署における物品定数を随時見直し、過剰請求、不良在庫の削減に努めた。 ・院内会議を開催し新規医療材料等について検討を重ね、より安全で円滑な医療業務の実施を図った。 	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・直納品の在庫期間の長期化の解消に努め、使用の効率化を図る。 ・電子カルテ導入に伴い、内部書類の簡素化を図り、帳票類の印刷物の見直しを実施する。 ・SPDシステム（供給、発注、在庫管理、使用状況、保険請求までの医療材料にかかる院内物流の一元管理システム）の導入について検討し、より効率的な物流システムの構築を推進する。

⑨平成19年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> ・SPDシステムを導入した場合、外部委託も検討し、業務内容、業務効率、事業経費など最も適切な方法を実施する。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1224
事業コード		事務事業名	医療用機器等契約発注事業	
根拠法令等	地方公営企業法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者さんの診療、入院治療に必要な医療機器等を
手 段	契約発注することによって
想定する成果	購入価格の低減を図り、医療機器を整備する。

③事業の概要

(千円)

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
器械備品購入費	40,000	209,667	20,000
購入品目数	23	30	—
主な購入機器	乳房X線撮影装置、十二指腸ビデオスコープ、超音波凝固切開装置	MRI装置、上部内視鏡システム、超音波診断装置	—

④成果指標

	①	②
成果指標名	医療収益に対する医療用機器等購入費用比率	—
成果指標の説明	$\frac{\text{医療用機器等購入費}}{\text{医療収益（入院収益+外来収益）}} \times 100$	—

⑤事業の進捗状況

(病院事業会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	0.3%
	実績	0.6%	3.2%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	40,000	209,667	20,000
	人件費	3,214	3,218	3,182
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	43,214	212,885	23,182
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他		149,900	
	一般財源	43,214	62,985	23,182

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	医療機器等を契約発注することによって、医療業務に必要な医療機器を整備し、医療水準の維持を図った。
経済効率性	2	2	限られた予算内で購入できる機器の更新を図った。
事務効率性	2	2	医者及び事務職員等の合同組織で検討し、事務の効率を図った。
必要性	3	3	救急医療、地域中核病院としての役割を果たすため、必要な事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	限られた予算内で病院として必要な性能の良い医療機器を購入するため、委員会を設置し検討している。 今後は中長期的な計画を策定し、リースも含め検討していかざるを得ない。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 高額医療機器の購入に際しては、機器選定・物品購入委員会にて、機器の性能、価格について十分検討している。 購入された高額医療機器については有効に使用されているかチェックするよう改善した。 	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 救急医療、高度医療を提供し、地域中核病院としての役割を果たすため、病院としてどんな医療機器が有効か十分な検討がなされるべきで、その収益面、稼働率等についても十分考慮すべきである。

⑨平成19年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> 病院が移転オープンしてまもなく10年が経過し、移転時に購入した医療機器が更新時期を迎えている。現在の医療水準を維持、向上させるためには、ある程度の投資も必要と思う。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	1224
事業コード		事務事業名	医療研究研修の支援事業	
根拠法令等	地方公営企業法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民病院の医師・看護師・医療技術員を
手 段	医療研究研修の支援をすることによって
想定する成果	医療水準の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
医師医療研究研修費 (研修医師人数)	10,394 千円 (46 人)	9,576 千円 (48 人)	11,400 千円 (51 人)
看護師等医療研究研修費 (研修看護師人数)	2,403 千円 (362 人)	3,229 千円 (354 人)	2,630 千円 (368 人)

④成果指標

成果指標名	①	②
	医師1人当たりの医療研究研修費	看護師等1人当たりの医療研究研修費
成果指標の説明	$\frac{\text{医師医療研究研修費}}{\text{研修医師人数}}$	$\frac{\text{看護師等医療研究研修費}}{\text{研修看護師等人数}}$

⑤事業の進捗状況 (病院事業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	223.5
	実績	226.0	199.5	—
成果指標 ②	計画	—	—	7.1
	実績	6.6	9.1	—
事業費	事業費	12,797	12,805	14,030
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	14,404	14,414	15,621
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	1,647	951	3,150
	一般財源	12,757	13,463	12,471

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	2	医業に携わる職員の資質の向上、最新情報の収集を目的としているが、成果の客観的な指標、基準が明確でない。
経済効率性	2	2	同規模の他病院と比較して、経費は低減の傾向にあり、経済性は確保されている。
事務効率性	2	2	
必要性	2	3	学会への参加、最新図書による情報収集など医業活動の支援には不可欠である。
小計	7 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	7 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	医療における専門性の高い職種に対する研究研修費は不可欠のものであるが、その基準が明確になっていない。研修計画や研修目標を明確にすることが今後の課題である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 平成14年度から図書の購入にあたって、外国雑誌を新規に購入する場合は、今までに購入していたものを廃止してから新規購入するよう徹底した。 	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 各職種の職員に対して研修意欲を向上させるべく研修内容の見直しをする。 研修計画や研修目標の基準を明確にする。

⑨平成19年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> 病院経営改革委員会の答申において指摘があったように、医師、看護師を始めとする全職員のスキルアップのための研修予算を増額要求する。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院部	事務局医事係	内線等	1100
事業コード		事務事業名	外来医療事務事業	
根拠法令等	医療法第12条	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	通院患者様に
手 段	診療の案内や診療費の請求等をし
想定する成果	快適な治療時間を過ごせるよう、サービスをする。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
延外来患者数	267,966人	262,495人	269,500人
実診療日数	243日	244日	245日
延委託職員数	5,394人	5,416人	5,439人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	1人1日当りの患者取扱数(人) 延外来患者数／延委託職員数	1日平均患者数(人) 延外来患者数／実診療日数

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	49.5人
	実績	49.6人	48.4人	—
成果指標 ②	計画	—	—	1,100人
	実績	1,102.7人	1,075.7人	—
事業費	事業費	89,626	87,494	89,181
	人件費	4,018	4,022	3,978
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	93,644	91,516	93,159
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	97,662	95,538	97,137

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	1日当りの平均延患者数は、前年比27人の減、1人1日患者取扱い数も1.2人減少している。
経済効率性	2	2	1日当たりの患者数が減少しており、委託職員数の見直しが必要になるが、医療の進歩に伴い仕事量が増え、患者様のニーズが多様化しているため、一概に委託職員数の減とはいかない面がある。
事務効率性	2	2	業務達成度・正確度で判断し、気になる滞りはない。
必要性	3	3	委託業務で実施しており、必要な業務である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	2	日ごろの患者様と接するなか、意見を戴き、参考にして業務の改善に努めている。院内に投書箱を置き、意見を聞いている。
合計	10 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	外来患者数により、左右される業務であり、患者数に見合った委託職員配置をすれば良いが、患者様のニーズの問題もあり、患者数は予測しにくく、委託職員減にはつながらない。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 患者サービスを充実し、親しみやすい受付及び窓口対応をすべく委託職員の医療事務知識の向上と接遇改善に努めた。 16年度に提案方式で、業者の見直しをして委託料を節減した。 	節減委託料（外来・入院医療事務併せて） 12,893,910円

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 外来係りで扱う書類（介護保険申請書、保険会社の診断書等）作成依頼が多く、書類依頼日から医師の作成日までの滞りがなく、診療支援体制をつくり患者サービスに努める。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院部	事務局医事係	内線等	1100
事業コード		事務事業名	入院医療事務事業	
根拠法令等	医療法第12条		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者様に
手 段	入院生活のご案内や診療費の請求等をし
想定する成果	適正な、診療費の確保をする。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
延入院患者数	131,054人	130,116人	131,000人
実診療日数	365日	365日	365日
延委託職員数	5,730人	6,424人	6,533人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	1人1日当りの患者取扱数(人) 延入院患者数／延委託職員数	1日平均患者数(人) 延入院患者数／実診療日数

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	20.0人
	実績	22.8人	20.2人	—
成果指標 ②	計画	—	—	358.9人
	実績	359.0人	356.4人	—
事業費	事業費	43,006	41,983	42,792
	人件費	4,018	4,022	3,978
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	47,024	46,005	46,770
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	51,042	50,027	50,748

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	1日当たり平均延患者が前年より2.6人の減、1人1日患者取扱数も2.6人減少した。
経済効率性	2	2	1日当たりの患者数が減少しており、委託職員数の見直しが必要になるが、医療の進歩に伴い仕事量が増え、患者様のニーズが多様化しているため、一概に委託職員数の減とはいかない面がある。
事務効率性	2	2	業務達成度・正確度で判断し、気になる滞りはない。
必要性	3	3	委託業務で実施しており、必要な業務である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	1	2	日ごろ患者様と接するなか、意見を戴き、参考にして業務の改善に努めている。また、退院時に入院生活全般にわたりアンケートを戴き、参考にしている。
合計	10 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	入院患者数により、左右される業務であり、患者数に見合った委託職員配置をすれば良いが、患者様のニーズの問題もあり、患者数は予想しにくく、委託職員の減にはつながらない。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 患者サービスを充実し、快適な入院生活が送れるように、従事者の医療知識向上と接遇改善に努めた。 16年度に提案方式で、業者の見直しをして委託料を節減した。 	節減委託料（外来・入院医療事務併せて） 12,893,910円

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 病棟クラーク業務は多忙で煩雑である。18年度に電子カルテ導入を控えており、クラークが医師、看護師の診療支援をいかにしていくか、考えている。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ **検討中**

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院	事務局	内線等	2124
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	医療・こまりと相談室事務事業		
根拠法令等	医療・こまりと相談室運用規約	A法令	B条例	C規則	Dその他

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	患者様の
手 段	医療に関すること、その他こまりと相談を受け
想定する成果	病気、生活等の不安や悩みを解消し、診療支援を図り、又社会復帰のお手伝いをする。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
年間相談件数	1,563件	1,965件	2,700件
年間相談実日数	243日	244日	245日
年間相談時間	28,685分	29,025分	38,000分

④成果指標

成果指標名	①	②
	1日当たりの相談件数	1件当たりの相談時間（分）
成果指標の説明	年間相談件数/年間相談実日数	年間相談時間/年間相談件数

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	11.1件
	実績	6.4件	8.1件	—
成果指標 ②	計画	—	—	14.1分
	実績	18.4分	14.8分	—
事業費	事業費	31	31	40
	人件費	13,661	17,697	21,481
	(人数)	1.7	2.2	2.7
	合計	13,692	17,728	21,521
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	13,692	17,728	21,521

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	平成16年度1日当たり相談件数6.4件、平成17年度には8.1件と徐々に増加。開設時間も2時間延長した。
経済効率性	2	2	医療費の未収原因を取り除くため、社会福祉や保障制度を活用して、支払困難者を援助する。
事務効率性	2	2	医療機能分化が進む中、診療支援ということで医療ソーシャルワーカーを配置したことにより良くなっている。
必要性	2	3	患者、家族からの転院や施設入所等の調整援助は、常駐の医療ソーシャルワーカーが対応しており安心できる。
小計	8 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	もともと患者様やご家族から相談室開設の要望のあった事業である。
合計	10 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	病院機能評価での患者サービス部門においても、今後ますます必要性が言われている部門であるが、相談件数などまだ少なく、インターネット等において相談室をアピールする必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成13年5月相談室を開設後、平成14年度に社会福祉士を配置した。17年4月から開設時間を午後3時までを午後5時に拡大した。平成15年度から平成16年度にはテーマを決めて、医療ソーシャルワーカーによる介護保険制度等の説明会を各病棟において実施し、患者様が安心して療養できるように問題の解決や施設入所の援助を図った。	

⑧今後改善すべき点

相談室をアピールするため、病院ホームページの改善を行っていく。医療機関の機能分化がさらに進むため、病病連携や病診連携がスムーズにいくように相談体制の確立を検討する。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	市民病院部	事務局医事係	内線等	1100
----	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	未収金管理事務事業				
根拠法令等	健康保険法第43条の8		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	医療費未納者に
手 段	催告、面談、集金等をし
想定する成果	負担の公平性を図り、病院の健全経営をめざす。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
窓口診療調定額	1,475,233,745	1,457,251,109	1,400,000,000
窓口診療未収額	54,568,590	57,269,106	56,000,000
窓口診療未収件数	703件	671件	690件

④成果指標

成果指標名	①	②
未収金発生率		1件当りの未収額（円）
成果指標の説明	窓口診療未収額／窓口診療調停額×100	窓口診療未収額／窓口診療未収件数

⑤事業の進捗状況（ 病院事業会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	4.0%
	実績	3.7%	3.9%	—
成果指標 ②	計画	—	—	81,159円
	実績	77,622円	85,348円	—
事業費	事業費	350	350	400
	人件費	16,072	16,088	7,956
	(人数)	2.0	2.0	1.0
	合計	16,422	16,438	8,356
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,386	8,394	8,356

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	催告、患者面談等をして未収対策をしているが、思うほど効果が出ていない。
経済効率性	1	2	病棟にも出かけ、相談しているが思うほど効果は出ていない。
事務効率性	1	2	未収金の判明が、1ヶ月後になる。
必要性	2	3	患者負担の原則、公平性の観点から必要である。
小計	5 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	5 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	受益者負担、公平性の観点から考えると事業はやめられない。ただし、費用対効果を考えた場合、業務委託の検討も必要。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・入院中の患者で医療費の相談を受けた場合、患者の自己負担支払額をなるべく軽くするために、高額療養費受領委任や高額貸付制度、出産育児一時金受領委任払制度等の医療制度を利用するよう進め、さらに支払が困難な場合、分納計画の話をしている。	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・医療費制度の改正が、毎年変動が激しく、改正された医療情報を正しく理解し、患者の支援をしていく。 ・今後、POSレジやクレジットカードによる支払を検討していく。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】